

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
理科	化学基礎・化学	4	一斉	理系	2

教科書（発行所）	化学基礎 academia（実教出版） 化学 academia（実教出版）
教科書以外の教材	1 サイエンスビュー 新化学資料（実教出版） 2 新編アクセス総合化学（浜島書店）

目 標	1 化学や化学現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことができるようにする。 2 化学や化学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		
	学期	学習事項	学習内容
学習計画	1 学期	【化学基礎】 1章 物質の構成  2章 物質と化学結合  3章 物質の変化	物質と元素 原子・イオン 周期表  イオン結合 分子 共有結合の結晶 金属 電子に注目した結合の分類 物質の利用  化学式量 物質質量 化学反応式と量的関係 酸と塩 pH 中和反応 酸化還元反応 イオン化傾向
	2 学期	3章 物質の変化  【化学】 1章 物質の状態と平衡	電池・電気分解  状態変化 各種平衡状態 気体の性質 気体に関する各種法則 固体・気体の溶解度 沸点・凝固点の変化 浸透圧 コロイド
	3 学期	2章 物質の変化と平衡	化学反応におけるエネルギー・速さ 可逆反応と化学平衡 電解質水溶液の平衡
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 用語を単独で「暗記」するのではなく、化学現象を全体的な流れの中で「記憶」していく。 3 授業ノートは使用せず、プリントに書き込む方式をとる。余白には、黒板に書かれないこともメモすること。 4 現象を分析するときは必要に応じ図を描いて可視化して取り組むこと。 5 予習は教科書を読み、プリントの（ ）埋めを行う。授業に集中し、復習をしっかりと行うこと。 6 既学習の内容は、考査において主体的に学習に取り組む態度として一定量の出題をして評価対象とします。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	使える	化学や化学現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 化学や化学現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学や化学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら化学や化学現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、自然の事物・現象についての科学的な見方や考え方を身に付けている。
	できる	化学や化学現象について、他の事項と関連付けて理解している。 学習内容の特質に応じた探究の方法を習得している。	化学や化学現象の中に課題を見だし、解決するための実験計画を立て、その結果を予測している。自らの予測について検証している。	化学や化学現象の中に探究活動の課題を探ろうとする。 化学や化学現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりする。
	分かる	化学や化学現象の概念を理解するための重要用語と、その用語に関わる知識を身に付けている。 観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	知識・技能を活用して、課題を解決するための方法に気づき、説明している。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において、粘り強く学習に取り組んでいる。
評価の方法	授業時の観察、定期考査、課題確認テスト（小テスト）、課題レポート、週課題、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。			